



- 1 羅針盤 幸福街道を歩む
- 3 工事部若手座談会 仕事に大切なのは素直さ
- 7 最高クラスの精度を誇る雨漏り調査
- 9 木材劣化診断士の活躍は目覚ましい
- 10 注目度は増す一方! 「足場パック」の目玉商品
- 11 室内環境を考える

幸福街道を歩む



シンプルライフスタイルを確立する

私は、平成24年11月に脳内出血を起こし、さらに平成27年1月には肝臓癌の10時間に及ぶ大手術をしました。2度の命を取り留めた経験をしました。

その時、それまで生きてきた半世紀を述懐し、人生の棚卸しをしながら、今までの経験を総動員して、新たな価値を取り入れ、シンプルな生き方を考えるようになりました。

現在のように、モノが溢れ、何一つ不自由なく手に入る時代になったからこそ、欲望で自分を見失わず、自分に相応しいライフスタイルを確立すべきだと思います。

そして、私は、自分にとって不要なものは捨て、一番大切な、必要なものを中心に暮らすシンプルライフスタイルの確立こそが、心豊かで、幸福な暮らし方ではないだろうかと思うようになりました。

重ねて、質素儉約の生き方も考えるようになりました。決してケチということではありません。必要などころにはお金を使い、必要でないものには使わないのです。即ち、無駄遣いはせず、活かしたお金を使う考え方です。

また、老子の言葉に「足るを知る」があります。何かを得て、それに満足するということではなく、常にあるがままの現実に満足するという意味です。

それは、森羅万象に感謝をする生き方で、報恩感謝の根幹といえましょう。常に、報恩感謝の精神を、物事の根っこに置き、喜び生活、喜び仕事、喜び人生を謳歌する生き方が幸福街道と信じて勇往邁進しています。

そして、ここでいう謳歌とは、恵まれた境遇を大いに楽しみ喜ぶことです。このような生き方が、幸福だと考えるようになりました。

人生そのものを愉しむ

そして、幸福には「相対的幸福」と「絶対的幸福」の2通りがあります。

「相対的幸福」とは、物質的な充足であり、欲望が満ち足りた状態をいいます。

しかし、欲望には際限がありません。たとえ、一時は満ち足りたようでも、永続性はありません。

それは、外の条件が整った場合に成立する幸福なので、条件が崩れた場合には、その幸福も消えてしまうのです。

これに対して、「絶対的幸福」とは、どこにいても、また、何があっても、生きていること自体が幸福であり、楽しいという境遇精神をいいます。

そして、外の条件に左右されることのない幸福なので、「絶対的幸福」というのです。

現実世界に住んでいる以上、人生には、さまざまな苦難はつきものです。

しかし、山登りに例えていえば、頑健な体の持ち主が、少々重い荷物を背負っても、悠々と山道を登ることができるように、自身の心に、絶対的幸福精神を確立した人は、さまざまな困難に遭遇したとしても、その困難をバネとして、強い生命力を湧き出させ、逆境を悠々と乗り越えていくことができます。

そして、頑健な人は、むしろ、山道が険しければ険しいほど、それを克服していく喜びを味わいます。

それと同じように、あらゆる困難を乗り越えていく生命力と智慧を身につけた人にとっては、困難が渦巻く現実世界そのものが、充実感に満ちた、自己を鍛え磨く、価値創造の人生道場となるのです。この人生道場こそが、幸福なのではないでしょうか。

このように、シンプルライフスタイルを模索しながら、私は、今、幸福最高責任者 CHO (チーフ・ハピネス・オフィサー) として「自他共幸福実現」へ挑戦の途上にあります。

そのテーマは、喜び生活・喜び仕事・喜び人生！人生そのものを愉しむ！です。

先ずは、人生そのものを愉しむ生き方の中に、周囲を巻き込んで、共々に幸福街道を歩めるようにしたいと熱望しています。

仕事に大切なのは素直さ 工事部若手座談会

(注：写真撮影のため、ほんの一時的に、マスクを外しました)

躍進には、本年4月に、木暮信良（写真前列左側）と三輪真奈美（写真前列右側）の2名の新卒者が入社し、現在、工事部において活躍しています。

そんな新人に、同じ工事部の関雄介主任（写真後列右側）と、入社2年目の松原詢樹（写真後列左側）を交え、若手社員による座談会を開催いたしました。

フレッシュな新人たちに対して、先輩社員がさまざまに応援しています。そんな若手社員たちの、仕事に対する真摯な思いに期待してください。

仕事の意味を理解し臨んでいる

－工事部の新人社員として、具体的に携わっている仕事は

木暮 主に、新築の物件に対する防蟻施工に携わっています。それに加え、お客さまの家を訪問し、床下点検をはじめ、お風呂場やキッチン、洗濯機のまわりの排水管洗浄を施しています。当初、思い描いていたよりも仕事の内容が多く、まさに新しい発見の連続です。

三輪 私も、新築の物件に対する防蟻施工をメインに携わっています。それに加えて、お客さまの家の床下点検に携わり、住まいに関するお悩みを聞くようにしています。

－社会人1年生となってどのように感じるか

木暮 日常生活に対する意識が、ガラリと変わりました。学生時代は、授業がなければ、平日でも家で休んでいられたのですが、社会人となった現在は、当然ながら、仕事に従事しなければなりません。また、朝も早いため、学生時代とは環境が一変し「社会人になったんだな」ということを実感しています。

三輪 学生時代と明らかに違うと思ったことは、学ぶだけではなく、確実にアウトプットし、そのアウトプットも、他の人にどのような影響を及ぼすかを考えなければいけないと思いました。それによって、社会が回っていくということを実感しています。

また、学生時代には、アルバイトも経験していますが、それは親の支援の元でなされません。しかし、社会人となってからは、経済的に自立し、自分で稼ぐお金で生活していかなければなりません。そして、責任というものも明確に感じるようになりました。

－2年生の先輩の目に映った新人たちの印象は

松原 2人とも仕事の意味をきちんと理解していると思っています。

動作だけでいえば、新築に対する防蟻措置は薬剤を塗ることであり、点検は、既築の物件を丁寧に見て回ることです。

しかし、仕事の意味は、防蟻なら、お客さまの家に、今後シロアリ被害が発生しないように対策することです。点検なら、問題点を明らかにして、それに対して様々な対処をして、安心して過ごせる快適な住環境を提供することです。

そんな仕事の意味を、きちんと理解してくれていることを、先輩として嬉しく思います。

－現在、主任という立場で活躍しているが、自分の新人時代を振り返るとどうか

関 もう14～15年前になりますが、社会人としてデビューしたのが、18歳のときでした。職人として、朝は始発で出勤する生活であり、それが今に役立っています。

新人の2人も、朝早くからがんばっています。そんな姿をみると、当時の自分を思い出します。そして、励ましながらも、厳しく指導しなければならぬとも思っています。

楽しく、モチベーション高く、仕事をする

－仕事を通して、実際にお客さまに接してみても思うことは

木暮 お客さまから、勉強させていただいているという気持ちです。

まだ、お客さまから住まいに関するお悩みを聞いても、そのすべてに、どのように対処しているのかは、分からない段階です。しかし、そういう問題を伺い、具体的な対策を考

えることで、日々成長していくのだと思っています。

三輪 自分の対応の仕方によって、お客さまに安心していただいたり、不安に思わせたりしてしまうのだと感じています。

私たちが扱わせていただくのは、住まいというお客さまの大事な財産です。そんな大事な財産が、果たして大丈夫なのかということをお客さまが確認するのも、すべて自分の言葉にかかってきます。自分の仕事に、より責任をもって臨まねばいけないと、気持ちを引き締めています。

—自分に与えられた仕事、役割をどう思うか

木暮 世の中には、いろいろな仕事があります。そのどんな仕事に対しても、目の前の問題を一つひとつクリアしながら、自分を成長させていくことが大事であると思います。

三輪 学生時代は、英語を専攻していましたし、周囲の人間も、航空関係や語学関係の職業について、主にデスクワークをしています。

しかし、自分の親が電気工事関係の仕事に携わっていることで、施工関連の職業には馴染みがあり、縁があったのだと思います。

松原 子供のころは、小説家になりたいと思っていました。しかし、どんな憧れの職業にも、大変な部分はあります。子供の目には、その職業の良いところだけが入ってくるので、単純に憧れてしまうのだと思います。

建築関係の仕事は、何千万円もする家という財産を扱う仕事です。そこには、お客さまのたくさんの思いが詰まっています。そんな仕事に携わるのは、ある意味、ちょっと不思議な感覚があったりします。

関 デビュー間もない新人の2人は、まだ一人前の仕事ができるとは思っていません。

しかし、仕事において大事なものは、素直さであり、取り組む姿勢だと思います。つまり、気持ちひとつで、未来が変わっていくのです。

松原くんを含め、若い3人には、辛いこともあると思いますが、楽しく、モチベーション高く、仕事をしてほしいと思っています。

—新人の2人が、躍進という仕事の舞台を得て思ったことは

木暮 笠井社長がおっしゃっていた、この10年間において、若いスタッフで会社を運営していけるような体制にしたいという言葉が、心に響きました。自分たちが、一生懸命に仕事に取り組み、会社に貢献しつつ、少しでも早く、任せられるような存在になりたいです。

三輪 これから少しずつ、仕事に加えて、3KMなどの多くの研修を通して、躍進という会社の伝統をはじめ、様々な要素を知っていくと思います。

そして、多くを学び、早く一人前になり、教える立場になって、会社に貢献したいと思っています。

—そんな新人の2人に、期待することとアドバイスは

松原 そもそも、すべての仕事とは、「お金を払うから、自分の代わりに課題を解決してほしい」ということに応えることだと思います。住宅においては、その意識が、特に色濃く出てくるものです。

そして、そこには満足が求められます。「この仕事には、お金を払ってもいいな」と思えることをやって、はじめて成り立つことです。

仕事においては、この根本を理解したうえで、満足していただくために誠心誠意取り組み、出来ることはすべてやるという精神性が大事だと心得てください。

関 これから仕事に取り組んでいくうえで、我々は同じ舞台に立ち、一緒になって目標を達成する仲間であることを、忘れないでください。

その中で、それぞれの立場で出来ることを考えながら行動していき、目標が達成され、その成果が分配されて、みんなが幸せになればよいと思っています。

そして、何よりも素直な気持ちを持ち、若手の持つパワーで、会社をより明るくしていきましょう。

～新人のプロフィール～

・木暮信良(きぐれのぶよし)〈1998年5月生まれ 2021年4月入社〉

学生時代は、商学部に所属していました。趣味は、ラジオを聴くことと、スポーツをすることです。

入社サポートの会社説明会において、躍進について興味を持ち、入社いたしました。

何事も一生懸命に取り組み、少しでも会社の力になれるように貢献していきたいと望んでいます。

・三輪真奈美(みわまなみ)〈1999年3月生まれ 2021年4月入社〉

学生時代は、英語を専攻していました。趣味は読書で、特にミステリー小説が好きです。

「地域のホームドクター」として、お客さまの「住」に関する悩みを解決する仕事に魅力を感じ、入社いたしました。

社会に認められ、信頼されることによって、自立できる人生を送ることを目標に、仕事に対して真面目に取り組むことで、自分を磨き、信頼を得ていきたいと思っています。

最高クラスの精度を誇る雨漏り調査

梅雨をはじめ、本格的な雨の季節が訪れました。そこで、より注目されるのが、雨漏り調査です。

もし雨漏りの疑いがあるのなら、サーモグラフィ法による『赤外線漏水調査システム』で、必ず調査を実施してください。

散水調査と水張り調査

雨漏りの調査には、一般的に、散水調査と水張り調査があります。

散水調査とは、雨漏りが発生していると思われる箇所に、雨降りの時と同じ状態となるように水を撒き、意図的に雨漏りをさせ、原因を確認する方法です。

また、水張り調査とは、陸屋根の場合に、屋上に水を張って、その水の漏れを確認する調査方法です。

しかし、原因の特定は、熟練したプロですら難しいものです。原因が特定される保証が無いのです。すぐに漏水箇所を発見でき、簡単な処置によって修繕できるケースもあれば、調査を繰り返して、やっと発見できる場合もあります。

原因が特定できなければ、外壁、屋根、防水等の全体改修を実施しなければなりません。それではコストも時間も、かかりすぎてしまうのです。

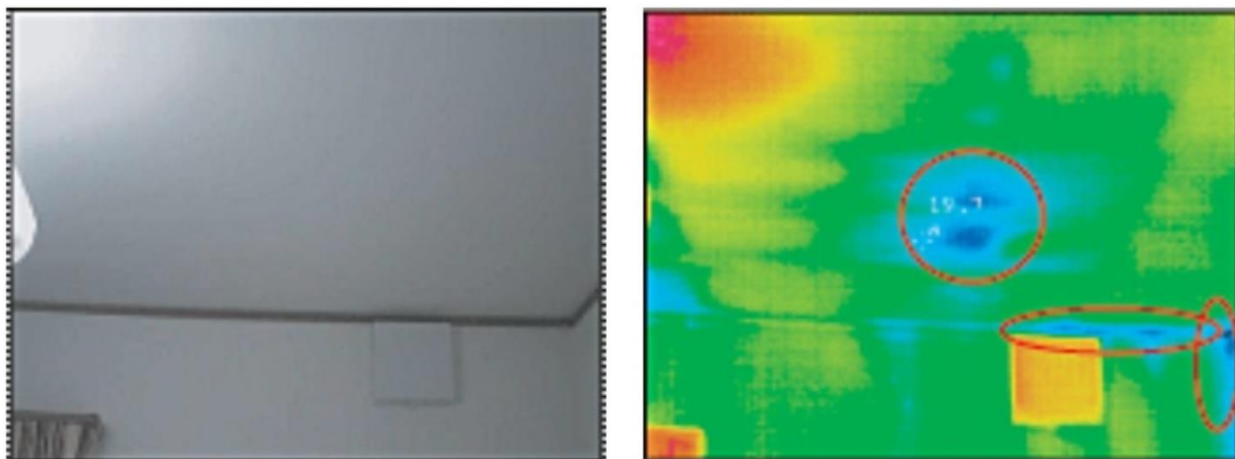
赤外線利用ならではの調査精度を確保する

専門の調査会社が、調査・補修をくりかえしていながらも、一向に雨漏り被害が改善されないという、そんな悩みを一気に解決したのが、サーモグラフィ法による『赤外線漏水調査システム』です。

赤外線は、温度を持つすべての物体から、その温度に応じた波長分布によって、自然に放射されます。その波長分布を、色画像として示し、様々な状態を分析する装置がサーモグラフィです。そのため、今まで発見できなかった雨漏りの侵入口も、明確に特定することができます。

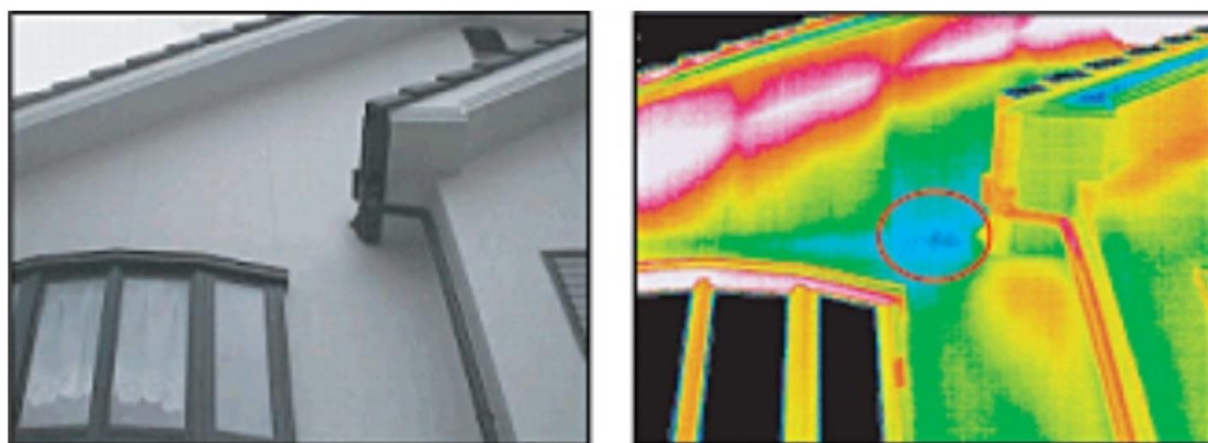
サーモグラフィの特徴は、広い面積を同時に捉えることができるため、モニター上に映し出される温度の相対比較を、ひと目で分析できます。

また、サーモグラフィは、対象物から離れて温度測定ができるため、動いているものや、近づくことができない危険なものでも、簡単に温度計測・分析することができます。



例えば、**上の2枚の写真**は、天井の一部と天井と壁の間が漏水している写真です。サーモグラフィ上では、部屋全体の温度は、緑色で表示されています。

そして、暖房などで室内が暖まると赤色に変化します。しかし、**漏水箇所は水色で表示される**のです。サーモグラフィ上では、丸で囲った部分には、水色を乗り越えて、濃い青色が示されており、ここが漏水箇所であることが分かります。



また、**上の2枚の写真**は、外壁に放水後、表面が乾いてから、サーモグラフィで計測したものです。下屋の雨どい脇に、赤外線画像では濃い青色が示され、その部分に水が蓄積していることが確認できるのです。

まさに、『赤外線漏水調査システム』は、熟練のプロの技を確かなものにする最高のアイテムといえます。

雨漏り調査・修繕にかかるコスト・時間を、合理的に縮小・短縮できるのが『赤外線漏水調査システム』です。まさに、最高クラスの精度を誇る雨漏り調査システムと言っても良いでしょう。

ご依頼、お問い合わせは、躍進までお気軽に。ご連絡をお待ちしております。

木材劣化診断士の活躍は目覚ましい

床下点検に多くの実績がある躍進には現在、4人の**木材劣化診断士**がおります(写真参照)。これまでに多くの実績を重ね、その活躍には目覚ましいものがあります。



木材劣化診断士は、木材の生物劣化(腐朽と虫害)の診断技術の専門家です。外構の中心となる木質構造物の生物劣化の現況を診断する様々な能力を有しています。また、補修や修理に関する助言、改修や維持管理に関する助言を行うことができます。

木材劣化診断士が習得した診断技術は、住宅などの劣化診断にも適用可能です。住宅と外構の劣化のポイントをおさえ、木材とその劣化、構造別の劣化の特徴を把握しています。

そんな躍進の木材劣化診断士は、「**お客さま第一主義**」を徹底しております。

すべての仕事は、まずお客さまありきです。何事も、お客さまからスタートしなければならないのです。

まさに、「お客さま第一主義」こそ、木材劣化診断士の原点と心得ております。

常に、お客さまの立場に立って、物事を考えます。

そして、お客さまのニーズを掴み、それにすばやく的確に応えることが躍進の使命・責務と考えております。

期待が寄せられる「地域のホームドクター」

また、躍進の木材劣化診断士は、「**地域のホームドクター**」として活躍中です。

躍進は「地域のホームドクター」として、地元を中心に、多くの皆さまの暮らしを見つめてまいりました。

幸せなホームを実現するには、その入れ物であるハウス(住宅)が健全でなければなりません。そして、肝心なのは、治療だけでなく、「**住まいの予防医学**」を実践することです。

その中でも、床下点検は、「住まいの予防医学」を実践する「地域のホームドクター」である躍進のまさに背骨ともいえる部分です。

シロアリや腐朽菌によって、食害・侵食された家屋の耐久性は、著しく低下します。耐震強度も下落し、新築当初の性能は保証できません。もし大きな地震等に遭い、家が傾くほどの損傷を受けた場合、その資産価値はゼロになってしまうのです。

そのため、床下点検を行い、土台や束などの木材の状態をチェックし、適切な処置を施さなくてはなりません。

その最前線で活躍しているのが、躍進の木材劣化診断士であり、「地域のホームドクター」としての役割を果たしているのです。

床下点検は、前述の通り、まず土台や束などの木材の状態をチェックします。

点検で蟻害や羽蟻の発生を確認するのですが、浴室などの水周りだけでなく、玄関にも羽蟻が発生しやすく、見落としがちになってしまいます。

こうした点を満遍なくチェックするのが、「地域のホームドクター」なのです。そして、「住まいの予防医学」の実践に邁進し、「地域のホームドクター」として、ますます期待が寄せられています。

床下点検からはじまる「家の安心・安全」は、「お客さま第一主義」の躍進におまかせを。ご依頼、ご相談などお気軽にご連絡ください。

注目度は増す一方！「足場パック」の目玉商品

躍進では、現在、リフォーム総合提案「足場パック」のサマー・キャンペーンを開催中です。床下点検からはじまる住まいの健康確保に、全力で取り組んでいます。

そして、その目玉商品が『飛驒炭 床下調湿材』『カーボエース』『床下用攪拌・換気システム』の「床下3点セット」(次ページ写真参照)です。

セラミック炭から作られた脱臭調湿材『飛驒炭 床下調湿材』は、床下に1坪あたり約12袋敷つめるだけで、床下の湿気をコントロールします。底面をフィルム加工してありますので、地面からの湿気もシャットアウトします。

同じく、セラミック炭から作られた土壌改良材『カーボエース』は、保肥性、保水性に優れ、病害虫の発生を抑制します。また、土中から放出されるガスを吸着するほか、pH調整機能、土中有効微生物の繁殖促進効果もあります。

『床下用攪拌・換気システム』は、中央部設置によるダイレクト換気(新方式)により、1台で20坪までの床下をカバーします。これは、従来の床下換気扇3台分に相当します。換気と攪拌機能を同時に搭載した高効率換気システムであり、床下中央部の高湿エリアをダイレクトに攪拌換気します。これにより、布基礎や基礎パッキン工法、基礎断熱工法等、あらゆる構造の床下に設置可能です。

「床下3点セット」のご注文、お問い合わせは躍進までお気軽に。



室内環境を考える 住宅コラム

現在、変異型の新型コロナウイルスが猛威を振るっていますが、1年前には、こんな状況になるなんて予想できた人は、そんなに多くいないはずです。

ワクチンが開発され、接種も始まって、徐々にコロナ禍は沈静化していくものと思っていた人が、大半だったと思います。

しかし、現実には甘くありませんでした。そして、人々の中に、コロナ禍は長引くどころか、「今後も、半永久的に、コロナウイルスと付き合っていく生活を余儀なくされるに違いない」という意識が芽生え始めているのも事実です。

それは、当然ながら、仕事やライフスタイルの変更も余儀なくされるもので、ビジネスの在り方だけでなく、我々の住まい方に関する意識にも変化をもたらしています。

それを裏付けるデータとして、SUVACO（スバコ）株式会社（東京・港区）がこのたび実施した、「あなたの今とこれからの住まい」に関するアンケート調査の結果に注目してみましょう。

同社が、現在、家づくりを検討している131名の自社登録ユーザーを対象に、コロナ禍のなかにおける「住宅購入あるいはリフォーム・リノベーションの要望や条件の変更」を調査したところ、上位に、内装へのこだわり、広さ、戸建てに関する回答が占める結果となったのです。

順位は、1位「より内装にこだわりたくなった」(22.1%)、2位「より広さを求めるようになった」(14.5%)、3位「より戸建てを求めるようになった」(13.7%)、4位「都心を離れて郊外を検討するようになった」(9.2%)、5位「二拠点居住を検討するようになった」(7.6%)、6位「駅近にこだわらなくなった」(6.9%) というもので、より良い室内環境を確保することが重要視されるようになったのです。

つまり、半永久的に続くと思われるコロナ禍によって、リモートワークの生活が定着するという認識が生まれたのです。

そこで、住宅関連業種に求められるのは、言うまでもなく、快適な室内環境の確保です。そして、それはリフォームにとどまらず、リノベーションであるべきです。リノベーションすることによって、住まいの資産価値が向上するからです。

クロス、フローリングの張替えや、和室を洋室に変更することなどは言うに及ばず、電気、設備などのリニューアルも同時に行い、資産価値アップを目的とした大幅改修実施を提案するのです。

また、前述のアンケートでは、「新型コロナによる影響で、住宅購入、リフォーム・リノベーションを行う時期に変更があったか」についても聞かれています。半数以上が「影響なし」(56.5%)と回答しています。

つまり、リノベーション提案についても、コロナ禍の影響は少ないとみていいのです。

このチャンスを逃さず、ぜひリノベーション提案を実施し、コロナ禍でも快適に過ごせる室内環境を実現し、お施主さまの幸せな住まいづくりに貢献してください。

<p>株式会社 躍進</p> <p>本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 ☎048-688-3388 ☎048-680-7615</p> <p>東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542</p> <p>URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com</p>	<p>関連会社 不動産事業 株式会社 ヤクシンジャパン</p> <p>関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ</p>	<p>事業内容</p> <p>防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、 ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、 ピンニング、シングル葺き</p> <p>木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除 及び予防、調湿剤、床下換気 等</p> <p>塗装工事：各種塗装</p> <p>外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、 外壁 等診断</p>
---	---	---